

平成 28 年度 県内就職につながる学びの場づくり支援事業
「新潟の産業・企業を知る講座」 報告書

新潟産業大学にて行われた新潟の産業・企業を知る講座について

1. 実施時期 平成 28 年 9 月 23 日（金）～平成 29 年 2 月 6 日（月）

2. 実施内容

（1）教室内講義

講師陣（外部講師〔柏崎市 3 名・企業 7 名〕）によって、柏崎市とその周辺の産業が説明され、企業、行政、NPO などでの働き方、とくに地方で働くこと、あるいは起業することの意味や、さらには充実したライフスタイルを得るために必要なワーク・ライフ・バランスと言う考え方も説明された。

また、学生からも多くの質問が寄せられたが、これにも丁寧にそれぞれの講師が答えた。

本学からは教員 1 名がコーディネーターを務めた。

受講者数：474 名

実施日	内容	担 当
10/7（金）	① 柏崎の観光事業 ② 海の観光	① 柏崎市産業振興部観光課 課長代理 井比 孝広 さん ② 小竹屋 旅館【宣伝・SNS 担当】／ご当地サイダー「鯨泉」鯨泉製作委員会【代表・ディレクター】／パドラーズ・パラダイス柏崎【企画・準備室長】 朽堀 耕一 さん
10/14（金）	① 十日町市 大地で輝く移住女子（新規就農への挑戦） ②アグリ・スポーツ・ツーリズム産業	① かなやんファーム代表 十日町市農業委員 佐藤 可奈子 さん ② ピーチビレッジ刈羽株式会社 代表取締役社長 入澤 勇太 さん
10/28（金）	ものづくりの歴史と企業誘致	柏崎市 商工振興課 ものづくり活性化センター 課長 片桐 武彦 さん
11/4（金）	「新潟県の物流情勢と地域活性化を目指した多角化戦略」	マルソー株式会社 代表取締役社長 渡邊 雅之 さん
11/11（金）	地域振興と金融	柏崎信用金庫融資部 副部長 山田 秀貴 さん
11/18（金）	まもなくやってくる働くことについて考える	株式会社阿部建設 代表取締役社長 阿部 尚義 さん

11/25 (金)	ワーク・ライフ・バランスについて	柏崎市民生活部 人権啓発・男女共同参画室 室長 力石 春美 さん
12/13 (火)	建設業が目指すアグリビジネス 「六次産業化を实践するわさび 栽培観光農園事業」	株式会社 土佐工務店 日本海石地わさび園 代表取締役 土佐 邦夫 さん

【10/14 大地で輝く移住女子（新規就農への挑戦）】

【10/14 アグリ・スポーツ・ツーリズム産業】企業

十日町市



【10/28 ものづくりの歴史と企業誘致】柏崎市

【11/4 新潟県の物流情勢と地域活性化を目指した多角
化戦略】企業



(2) フィールドワーク

・外部講師 [県内企業 10 名・柏崎市 1 名]

観光・文化施設から始まり、魚市場やマーケット、機械製造工場、流通センター、菓子製造工場などを見学した。また消防本部でのレクチャーや消火作業体験も行った。

これらすべてのフィールドで、実際に働いている人々の現場の日常業務を具体的に示してもらい、参加学生と講師との質疑応答も活発になされた。

最後の追加フィールドワークとして、石油事業所の最新設備の整った見学施設の訪問と、柏崎市内企業見学ツアーを行った。

また、就職活動を控えた３年生を対象とし、介護や医療への正しい理解を促進するとともに多くの県内企業・団体やそのサービスと製品等を知ることにより、学生たちの視野を広げ、県内への就職につなげることを目的として福祉・介護・健康フェアに参加した。

見学者数：222 名

実施日	行先
10/15（土）	① 日本海 石地わさび園 ② ピーチビレッジ株式会社 びあパーク とうりんぼ（PVK） ③ ドナルド・キーン・センター柏崎
10/22（土）	① ニッカイ米山 日本海フィッシャーマンズケープ株式会社 ② 株式会社 柏崎魚市場
10/29（土）	① 株式会社 テック長沢 ② 株式会社 阿部建設
11/5（土）	① マルソー株式会社（新潟巻潟東 SLC） ② 株式会社 ブルボン ③ 柏崎消防本部
11/13（日）	県内企業が参加する展示会への参加（福祉・介護・健康フェア：新潟会場「朱鷺メッセ」） 【*別途報告書あり】
12/10（土）	新潟ユニゾンプラザ福祉機器展示室（あおやまメディカル株式会社）にて体験と説明講習 【*別途報告書あり】
不定期 （2月6日実施）	平成28年度「地元企業の魅力発見！バスツアー」
不定期 （12月9日実施）	国際石油開発帝石株式会社 「INPEX MUSEUM」 「PL 監視センター」

【10/22 株式会社 魚市場 会議室でレクチャー・見学様子】





【10/29 株式会社阿部建設 レクチャー・見学】



【11/5 マルソー株式会社（新潟巻潟東 SLC） レクチャー&見学】



【11/5 株式会社ブルボン レクチャー&見学】



【11/5 柏崎市消防本部 レクチャー&見学】



3. 受講者・見学者

(1) 受講者・見学者数：講義およびフィールドワークの各回の参加者は以下のとおりである。

日程	本学学生	聴講生（一般）	小計	備考
9月23日	43	5	48	講義
10月7日	41	6	47	講義
10月14日	51	6	57	講義
10月15日	46	0	46	見学
10月22日	47	0	47	見学
10月28日	53	0	53	講義
10月29日	47	2	49	見学
11月4日	58	10	68	講義
11月5日	50	0	50	見学
11月11日	49	0	49	講義
11月18日	53	2	15	講義
11月13日	11	0	11	見学
11月25日	60	18	78	講義
12月9日	7	0	7	見学
12月10日	9	0	9	見学
12月13日	19	0	19	講義
2月6日	3	0	3	見学
計	647	49	696	
講義			474	
フィールドワーク			222	

(2) 講義アンケート

昨年度と同様、地域の産業構造や個別の企業、施設、行政の仕組みなど新たな発見があった、という声が受講者から多数あがった。

下記のアンケート結果を見れば、全体的にアンケートのQ4「地域に対する考え方」、Q5「就職に対する意識」の集計数を見れば、大多数の受講者が「大いにそうだ」「そうだ」と答えている。また「就職に対する意識が高まったか」という質問についても同様の結果がでた。このことから地域・就職に対する意識が高まったことが窺える。

10月7日の、地元でUターンし、旅館業を再構築した講師の話には熱心に講義に聞き入る受講生の姿がQ1・2から見えてくる。この講師から、柏崎市の観光をアピールする SNS 発信に学生の意見を求めるための追加の定期的な会合の要望があり、実施されている。

ついで10月28日の「ものづくりの歴史と企業誘致」では柏崎地域の産業構造についての新たな発見と、地元企業をはっきりと認識したことがうかがえる。

また11月25日「ワーク・ライフ・バランスについて」の講義アンケートでは、「働き方についての考え方が変わった」と言う学生が数多くいた。さらにいえば、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をはじめて聞いて、このことの周知に努めれば社会の仕事に対する意識が変わるので、このような機会を様々な人を対象として、もっと多く設けるべきだという意見が多数寄せられた。

・アンケート結果

Q1：あなたはこの授業を受けて、その内容を理解できましたか

Q2：あなたはこの授業のテーマについて、関心を持ちましたか

Q3：あなたはこの授業のテーマについて、理解が深まりましたか

Q4：あなたはこの授業を受けて、地域に対する考え方が変化しましたか

Q5：あなたはこの授業を受けて、就職に対する意識が高まりましたか

授業実施日	回答枚数	Q1					Q2					Q3					Q4					Q5				
		大いに そうである	どちらとも いえない	そうでは ない	全く そうではない		大いに そうである	どちらとも いえない	そうでは ない	全く そうではない		大いに そうである	どちらとも いえない	そうでは ない	全く そうではない		大いに そうである	どちらとも いえない	そうでは ない	全く そうではない		大いに そうである	どちらとも いえない	そうでは ない	全く そうではない	
2016年10月7日	41	14	24	1	1	1	15	18	7		1	16	21	4			9	21	8		2	9	19	9	3	
2016年10月14日	43	14	28	1			15	22	6			12	26	5			12	23	7		1	12	22	8	1	
2016年10月28日	47	16	29	1	1		17	24	6			17	24	6			17	21	9			15	22	8	2	
2016年11月4日	50	21	26	3			18	22	10			18	27	5			13	23	14			19	21	10		
2016年11月11日	45	17	26	1	1		18	23	4			19	22	3	1		17	18	7	3		18	20	6	1	
2016年11月18日	46	26	15	5			26	16	4			25	16	5			20	16	9	1		24	15	7		
2016年11月25日	45	16	23	5	1		14	20	9	2		16	23	5		1	12	23	8	1	1	12	21	9	3	
	合計	124	171	17	4	1	123	145	46	2	1	123	159	33	1	1	100	145	62	5	4	109	140	57	10	

※12/13の講義のアンケートは実施なし。

(3) フィールドワーク・レポート

学生のレポートからは、魚市場や消防本部など、存在は分かっているけれども実際の業務をはじめて知り一種の感動を覚えていたようだ。また、製造業・建設業・流通業の現場を見るのも貴重な体験であったことがうかがえる。

参加者のレポートを読むと、とくに現場で働く人たちに接し、生の声を聞いたことが強く印象に残っているようだ。地域で働くというライフスタイルを実感し、職業選択の際に大きな影響を残すことと思われる。

新潟県委託事業

県内就職につながる学びの場づくり支援事業

平成 28 年度 新潟の産業・企業を知る講座等報告書

1) 取組内容

県内企業が参加する展示会への参加（福祉・介護・健康フェア：新潟会場（朱鷺メッセ））

2) 実施日

平成 28 年 11 月 13 日（日）

3) 参加者数

11 名（教員は除く）

4) 趣旨・目的

新潟県も少子高齢化が問題となっており、それらに関係する企業や団体も人材不足となっている。新潟県内においても、一見するとそれらの分野と何ら関係ないと思われる企業や団体も実はそれらに関係するサービスや製品開発を行っている。

今回の取り組みは就職活動を控えた 3 年生を対象とし、介護や医療への正しい理解を促進するとともに多くの県内企業・団体やそのサービスと製品等を知ることにより、学生たちの視野を広げ県内への就職につなげることを目的としている。

5) 結果

本フェアの来場者数は約 16,000 人であり、出展者数は 132 企業・団体であった（主催者発表）。出展ブースは、医療ゾーン、予防・健康ゾーン、住まいゾーン、生活支援ゾーン、介護ゾーン等に分けられており、学生たちは限られた時間のなかで各ゾーンに行き多くのブースを訪れていた。そして、王子製紙、ユニクロ、味の素ゼネラルフーズ、ローソン、住友不動産等のすでに知っている企業においては、それらの企業や団体も新潟県内にて福祉・介護・健康分野のサービスや製品等に関係しているという新たな発見があり、また、新潟県内のあまり知られていない企業や団体においては、その存在とともにサービスや製品を知ることができ興味関心を持った。これらのことにより今回の取り組みは大成功であり、学生たちの視野を広げ県内への就職につなげることにとても大変有意義であったと考えている。



新潟県委託事業

県内就職につながる学びの場づくり支援事業

平成 28 年度 新潟の産業・企業を知る講座等報告書

1) 取組内容

新潟ユニゾンプラザ福祉機器展示室（あおやまメディカル株式会社）にて体験と説明講習

2) 実施日

平成 28 年 12 月 10 日（土）

3) 参加者数

9 名（教員は除く）

4) 趣旨・目的

福祉の分野也多岐にわたるが、特に介護高齢の分野においてはそれらに関係する企業や団体が人材不足となっている。新潟県内や柏崎市内においても同様であり深刻な問題になっている。

今回は就職活動を控えた 3 年生を対象とし、高齢者や福祉用具の理解を深めるとともに、身体介護（介護員）だけが介護高齢分野の仕事ということではなく、生活相談（相談員）や福祉用具貸与・販売等の仕事もあるということを知ってもらうことにより、県内への就職（特に介護高齢分野へ就職）につなげることを目的としている。

5) 結果

今回の取り組みは、新潟ユニゾンプラザの福祉機器展示室にて高齢者疑似体験と福祉用具の説明講習を受講した。この展示室の管理運営は、福祉用具貸与・販売事業者のあおやまメディカル株式会社に委託され、高齢者や障害者等の自立支援と介護する家族の負担軽減に役立つ福祉機器等の展示とともに、

それらの機能紹介や選び方，使用方法等，情報提供や相談業務が行われている。

学生たち（一般の人々）の多くは，介護高齢分野の仕事というとまず思い浮かべるのは身体介護（介護員）であるが，介護高齢分野の仕事はこれだけではなく生活相談（相談員）や福祉用具貸与・販売等の仕事もあり重要な役割を担っている。本学は経済学部であるため身体介護（介護員）の職に就く卒業生はあまり多くない。しかし，生活相談（相談員）や福祉用具貸与・販売等の仕事であれば経済学部で学んだ知識や経験も生かせることが多くあり，新潟県内における学生たちの就職の選択肢や幅が広がる。今回はその現場に直接足を運び，職場の状況やそこで働く方々からの話を聞くことができ，とても有益な取り組みであったと考えている。

